

児童発達支援・放課後等デイサービス(多機能型)事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 25日

事業所名

合同会社 ふくかぜカンパニー
こどもプラス盛岡教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	回答 なし	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1			・長期休みで多くの利用がある場合は難しさもあり、充分とまではいかないが、利用定員に対してはスペースを確保されている。 ・移動できるパーテーションを活用して個別エリアを設定している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			1	・必要な人員配置を随時行っているが、1対1での対応が求められる児童が増えてきているため、職員不足を感じる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1			・玄関入り口を含め室内はバリアフリー化となっている。段差はほとんどないが、利用者によっては玄関に手すりの必要性を感じる。 ・車いすを利用できる広いトイレが2カ所あり使用しやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5				・毎日の掃除に加えコロナ禍により一層、ドアノブや各所、活動に使用する道具や遊具を毎日消毒している。 ・換気を一日のうちに複数回行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2		3		・十分とはいえない。 ・毎朝のミーティングで日々の振り返りを大切にしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価やアンケートを実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		1		・職員間で保護者の意向を把握し、改善につなげ実施していく。 ・保護者の要望にできる限り添えられるように業務工夫している。 ・アンケートは実施しているが改善できない部分もあり、今後改善に向けて取り組んでいく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				・今回2回目の自己評価と保護者アンケートの実施で、今後改善に努めていく。 ・評価結果を法人HPにて公開予定。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5		・外部評価は受けていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				・2回/月、本部からのZOOM研修を受け、即日振り返りを行い、日々の支援につなげている。 ・伝達研修を行い更に資質の向上を図っていく。 ・職員(パートを含む)の研修機会を確保している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	1			・情報量が少ない場合アセスメントに随時加えていく方法をとっている。 ・家庭からの情報を基に支援計画を作成している。 ・客観的に分析、という点とニーズの聞き取りでは弱い部分もある。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	1	3		・医療機関等で知能検査・発達検査を受けている子どもに関しては、スタッフ間で情報を共有し、支援計画に活かしてはいるが、直接アセスメントツールを使用したことはない。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	1	1		・当事業所が柱とする、運動療育を通して、子どもや保護者のニーズに応えていけるような支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		1		・個別支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		1		・単独の場合もあるが、スタッフ間で相談しながら共有して立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				・運動遊び(療育)がメインのプログラムだが、内容が固定化しないよう配慮している。 ・特性に関係なく、誰でも気軽に楽しめて継続していけるよう内容を工夫している。 ・週単位で話し合いをしている。 ・季節行事を取り入れながらいろんな経験ができるよう工夫している。
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	4			・課題を決めていることもあるが、細やかに設定して支援しているとは言えない。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5				・一人ひとりに応じた支援計画を作成している。
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1			・活動のシミュレーションや役割分担は行っている。 ・打ち合わせができていないときもあるが、日報にて確認を行っている。	

関係機関や保護者との連携	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも定着はしていないが個々に気づいた点について話し合いは行っている。今後定着できるよう努めていく。 ・送迎に時間がかかり、パートも含めた上で、全員での話し合いはできていないときもある。 	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡帳、振り返りを行っている。 ・日々の支援を記録に残してはいる。 ・支援の検証・改善につなげている。 	
	21	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、定例のケース会議を開き児童の状況把握を行っている。 ・定期的でない部分もあるがモニタリングを行い保護者から同意を得た上で見直ししている。 	
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの再確認を行っていきたい。 	
	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しないほうが多い。 ・会議は行われていない。 	
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り努めている。
	25	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル初声時の連絡)を適切に行っているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報については、主に保護者と連絡調整している。 ・トラブル等については柔軟に迅速に対応するようにしている。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				5	<ul style="list-style-type: none"> ・今は対象児童がいない。
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				5	<ul style="list-style-type: none"> ・今は対象児童がいない。
	28	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に担任と情報交換をしている。
	29	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の申し送りにとどまっているので、必要に応じて、随時情報共有を行っている。
	30	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			5		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は行えなかったため、今後は情報共有等に努めていく。
	31	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			5		<ul style="list-style-type: none"> ・今は対象児がいない。
	32	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・回数は少ないが他事業所の主催の研修に参加できた。 ・専門機関との連携はあまりない。 ・意見交換等は十分なされたが研修までとはなっていない。
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			5		<ul style="list-style-type: none"> ・交流できる機会を持つことができていない。
	34	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			5		<ul style="list-style-type: none"> ・交流できる機会を持つことができていない。
	35	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			5		<ul style="list-style-type: none"> ・交流できる機会を持つことができていない。
	36	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1			<ul style="list-style-type: none"> ・その日の状況を毎日の連絡帳を通して、送迎時等に行っている。
	37	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		1	5		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容は家族に知らせているが家族支援プログラム支援までは至っていない。
	38	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている。
	39	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を作成し、支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ている。

保護者への説明責任等	40	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3	・定期的にはできていないが、保護者からの相談等は職員間で協議し助言等を行っている。
	41	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	・父母会の活動はしていない。
	42	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	3	・相談や申し入れについては、職員間で共有して対応している。迅速かつ適切とまでは言えないが、できる限り速やかに対応している。
	43	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・1回/月広報誌『盛岡教室便り』の発行に努めている。
	44	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		・守秘義務を遵守している。
	45	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		・伝え方や言葉選びに配慮している。 ・送迎時等にその日の様子を伝えている。
	46	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	・地域住民との交流は行っていない。
非常時等の対応	47	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	4	・大規模災害時の対応については、契約時に説明しているが、防犯等については周知の必要がある。 ・発生を想定した訓練は実施されていない。
	48	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	2	・年に2回の避難訓練を実施している。
	49	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	1	・十分な確認はできていない ・予防接種の確認はしていない。
	50	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		・保護者からのフェイスシート等で確認している。 ・契約時にアレルギーについて確認している。
	51	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		・ヒヤリハット報告書を作成し、回覧して共有・改善している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	・内部研修で講習を受けている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		・組織的な決定はできている。 ・個別支援計画書に記載し、保護者に説明している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。